



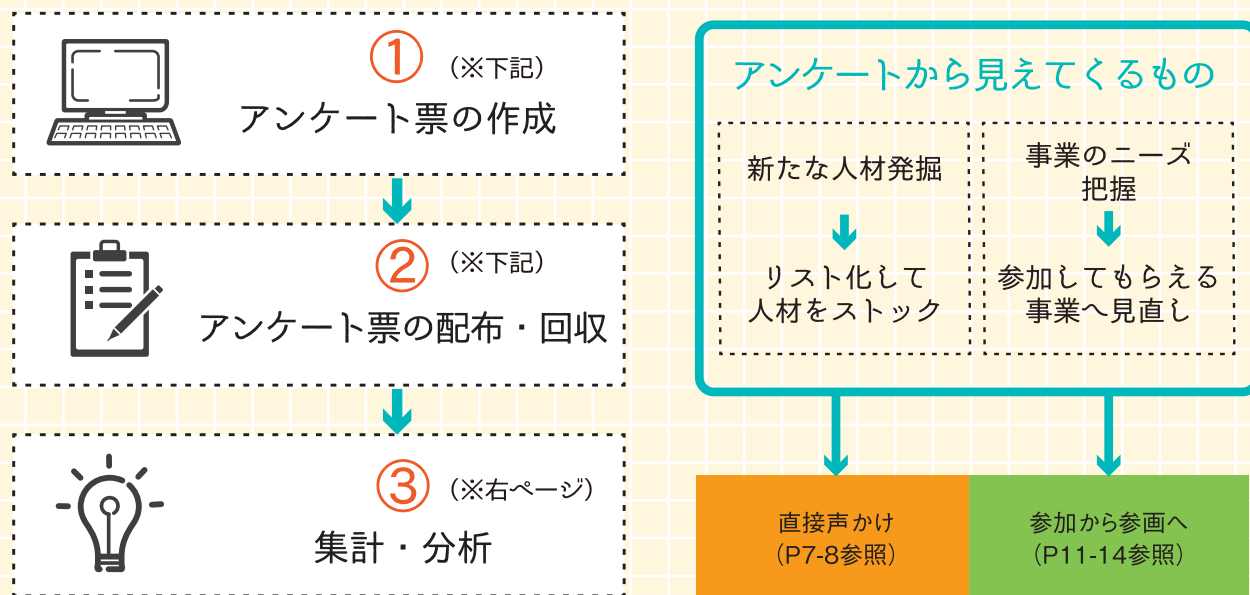
若い世代とつながる ～実践編～



2 アンケートで人材発掘



アンケートでお手伝いの可能性を調査して人材発掘！合わせて事業のニーズも把握し、参加してもらうための事業へ見直しましょう
(「2 アンケートで人材発掘」を実践した中央区旭山町内会の事例は15ページへ)



1 アンケート票の作成

作成の POINT

人材発掘と事業の見直しには以下の設問が有効です。

- ・役員や活動のお手伝いの意向
- ・既存事業の参加状況や、事業を継続すべきかどうか
- ・今後あるとよい事業
- ・参加しやすい時間や曜日 など

アンケート票の設問を考えるにあたって

- ・まず、町内会が現在抱えている課題について話し合います。
- ・次に課題に対応した設問を考え、アンケート票に盛り込みます。
(アンケート票は17～18ページ参照)
- ・QRコード(※1)をつけてインターネットアンケートで回答できるようにする方法もあります。

町内会のWEBアンケートにご協力をお願いします



鉄西第13町内会や地域に関する住民のみなさまのニーズを把握するためにWEBアンケートを行っています。無記名式で数問の簡単なアンケートですので、ご協力をお願いします。
(※1) 防災ランチ会にご参加されない場合も、アンケートのみ受け付けております。

回答期限 平成31年2月17日(日)

2 アンケート票の配布・回収

回収率 UP の POINT

- ・役員や班長さんが直接回収に行くと回収率が上がり、住民と顔を合わせるきっかけにもつながります。
- ・直接回収しない場合は、返信用封筒も一緒に配布して、班長宅のポストなどに投函してもらうとプライバシー面でも安心して回答いただけます

アンケート票の配布には、以下の方法があります。

- ・全戸配布
- ・回覧版に用紙を添付して取ってもらう
- ・行事の参加者に配布

3 集計・分析

集計・分析の際は、以下のポイントを押さえて「人材の発掘」と「事業の見直し」につなげましょう。

◆人材発掘について

- ・役員になることやお手伝いが可能と回答した方を整理してリスト化しましょう。
- ・アンケートを任意の記名式にすると誰がどのような回答をしたか把握できます。

POINT

アンケート集計からあまり時間をあけずに声かけを行うことが大切です。

◆事業の見直しについて

- ・既存事業は、「参加したことがある（横軸）」と「今後も継続すべき（縦軸）」の項目で散布図を作成すると、事業見直しの際に取捨選択しやすくなります。（散布図については16ページを参照）

成功
の
カギ

～中央区旭山町内会～

【声かけ編】

- ・お手伝いが可能と回答した方をリスト化しました。
- ・その後、町内会活動サポーター制度の立ち上げに向けて、リストにあがった方を対象に、顔合わせの会を開催しました。詳細については15ページをご覧ください。

【事業の見直し編】

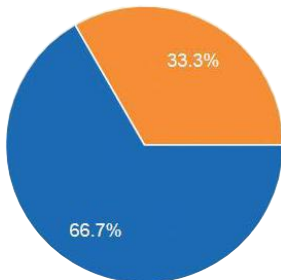
- ・アンケート結果から、参加者が少なく今後の継続のニーズが低い事業に見える化して、事業継続について検討しました。
- ・統廃合の結論はすぐに出しませんでした。今後検討する際の貴重な材料となりました。

POINT

ニーズのある新規事業に対しては、既存事業と合わせて負担を少なく実施する予定です。

Q インターネットアンケートやQRコードなどを試してみたいけれど、どこから手をつければいいかわかりません。どうすればよいのでしょうか？

A 地域の学生さんや現役世代の方など、お願いできそうな方に頼んでみるのも1つの手です。
googleフォーム（※2）など無料でインターネットアンケートを作成できる機能がたくさんあるため、設問さえお伝えすれば作ってくれるかもしれません。



- 参加したことがあり、今後も参加したい。
- 参加したことがあるが、今後あまり参加したいとは思わない。
- 参加したことはないが、今後参加したい。
- 参加したことがなく、今後あまり参加したいとは思わない

（※2） googleフォームとは、インターネット上でアンケートを作成し、インターネット上で回答してもらったアンケートのことです。アンケートの結果を自動で集計・グラフ化する機能があるため便利です。

とある町内会であった事例





若い世代とつながる ～実践編～



3 参加から参画へ



何度か行事に参加してもらった人を、参画につなげていきましょう



①

情報発信して参加の
きっかけづくり



次ページへ ②③④

① - a 情報発信して参加のきっかけづくり

紙媒体でもしっかり伝わる発信を

- ・町内会だよりをカラーや手書きにするなど、伝えるだけでなく「しっかり伝わる」工夫をしている町内会もあります。
- ・また、町内会の役割や必要性を伝えるためのリーフレットを作成して全戸配布し、町内会未加入者に対しては加入を促し、町内会加入者に対しては改めて町内会を知ってもらうきっかけとした町内会もあります。

紙媒体での
情報発信の
カギ

住民のスキルを活かして広報
【中央区山鼻第18町内会】

※町内会だよりは
北海道町内会連合会
H30年度自治会広報紙
コンクール最優秀賞受賞



地域に住む女性現役デザイナーが町内会の広報担当者として起用され、これまでの町内会だよりをリニューアルしたことで、全編カラーで見やすくなり、町内会加入者も増加しました。町内会だよりの編集は若い人1人に任せるとはせず、会長も編集方法を学びながら一緒に作成しています。

POINT 得意な人に任せきりではなく、数名で担うことが長続きの秘訣です。

リーフレットで町内会の必要性や行事をお知らせ
【北区鉄西第13町内会】

地域に住む若い世代に町内会活動への関心を持ってもらうために、町内会紹介リーフレットを作成。リーフレットと合わせてイベントのチラシも配布して町内会を知ってもらい、すぐに参加しやすいイベントを行うことで、効果的に参加につなげました。またイベントの際に「直接声かけ」を行ったところ、若い世代の男性が次年度から役員になってくれることになったなど、うれしいサプライズも！

POINT 知ってもらい＋すぐに参加の機会があると効果的です。

